

栃木県立矢板高等学校 農業経営科

農業経営科では、イネ・草花・野菜・果樹の栽培と家畜の飼育を中心に、「自分でできる」ための技術や知識の修得を目標として学習しています。また、生物工学・農業機械・農業経営・情報処理等についても学び、人間にとて必要不可欠な食糧生産の様々な手法や販売・流通に関する実践的な技能を身に付け**地域に根ざした将来の農業人・農業産業人の育成**を目指しています。



特徴的な活動

矢板市農業委員会との交流学習

米ゲルを使った
グルテンフリー
の食品開発！

日本一おいしい米コンテスト
2年連続「優秀金賞」受賞

りんごの栽培

矢板市の長井地区は、県内有数のりんご产地です。本校の果樹部でも、20品種以上のりんごを栽培し、約100本の樹を有しています。



北海道農業実習（酪農家へのファームステイ）

北海道農業実習（酪農家へのファームステイ）は、1961年（昭和36年）から続いている伝統行事です。本校では「黒毛和種」という肉用牛しか飼育していないことから、希望生徒を募り7月の2週間、北海道東部の中標津・別海町等の酪農家にて搾乳体験や大規模農業を経験しています。



デュアルシステム（産業現場等における実習）の活用

2012年度（平成24年度）より、本校の施設や設備では体験できないことを学習する場として、デュアルシステムを活用し、先進農家や農業関係事業所で実習を通して技術を学んでいます。

